

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	60%	自校A B層の割合	60%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	59%	自校A B層の割合	46%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川区算数授業スタンダードを基盤とした授業研究を各学年行い、校内研究をすすめる。 総合的な学習の時間や読書科をはじめ、教科全般で問題解決的な学習を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テストを学期ごと（年3回）に実施する。 ベーシックドリルの診断テストを基に個人カルテを作成して、課題を重点的に学ぶ機会を設ける。 漢字小テスト、計算小テストを定期的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 市販ドリル「アイテム」とタブレット端末によるドリルパークを併用して効果的に家庭学習を行う。 江戸川っ子study week!の取組からタブレットを活用した家庭学習を効果的に行う。 業間に学習タイムを設け、基礎的な知識・技能の習熟を図る。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な問題を取り入れ、自信をもってできた実感できるようにする。 答えられやすい質問を考え、誰でも発言、発表できる場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後補習教室スタッフと連携して、苦手分野の復習を実施する。 東京ベーシックドリル診断テストの結果から、学習カルテを作成し、児童にとって個別最適な学びの方法や場を提供していく。 夏季休業中にサマースクールを実施して基礎学力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 市販ドリル「アイテム」とタブレット端末によるドリルパークを活用して家庭学習を行う。 保護者と連携して、課題のある学習内容を伝え、ドリルパークの活用を推進する。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力学習状況調査において、教師の助言や賞賛によって学習意欲が高まった。適切な課題や教材の提示を教師が行ったことにより、理解が深まり、達成感を味わうことができた。と回答する肯定的な意見が8割以上となることを目標とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルの診断テストにおいて80%達成者が70%以上になるように目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力学習状況調査の設問において、「授業時間以外の勉強時間」1時間以上の回答の割合80%以上を目指す。